



関町小通信

平成25年11月1日

練馬区立関町小学校

校長 吉田 隆司

「本、大好き！」に

11月を迎え、心地よい季節となりました。また、「灯火親しむべし」夜の時間も長くなり、読書の時節が到来しました。10月27日から11月9日までは読書週間です。読書は知識を授け、心を豊かにしてくれる栄養剤です。知識や言葉の習得にとどまらず、感性を磨き、想像力や創造力を豊かにするなど人間としての人格形成に深く関わるからです。

しかし、子供の「読書離れ」が指摘されて久しいと言われます。最近の調査では、1ヵ月に1冊も本を読まなかった人の割合は、小学生で4.5%、中学生が16.4%、高校生に至っては53.2%と半数を超えているとのこと。1人あたりの1ヵ月の読書冊数は、小学校が10.5冊、中学生が4.2冊、高校生はわずか1.5冊という結果です。テレビや楽しい遊びがたくさんあり、パソコンで簡単に情報が手に入る今、「読書離れ」が進むのも不思議なことではありません。

本校では、読書の楽しさを味わわせ、読書する習慣を身につけさせるために、6月、10月(11/9まで)、2月と年3回、読書週間を設け取り組んでおりま

す。学校では、読み聞かせをする、大人が読書をしてモデルを示す、適当な本を紹介したり、図書館に連れて行ったりする、名作と学習の関連だけに限定しないで広く読ませるなど、本との出会いを演出して様々な工夫をしています。

なかでも、先生や親など大人の姿は子供にとって重要なモデルとなります。大人が読書をしたり、本をもったりしている姿を見て図書や読書に関心を持つようになります。

この読書週間を機会に、ぜひご家庭でも応援してください。季節的にちょうど良い秋の夜長をどっぷりと読書に浸っていただきたいと思います。

「学芸会にむけて」

いよいよ、学芸会に向けて練習が始まり、熱が入ることと思います。協力し合って一つの劇を完成させる喜びが続きます。よりよい劇を作り上げようとする一人ひとりの努力が、学年全体の努力につながり、次の目標や自信につながっていきます。そして、晴れの舞台が全ての子供たちに用意されています。11月29日、30日の学芸会、一人一人が役の中でどのような輝く姿を見せてくれるか楽しみです。

11月の生活目標「物を大切にしよう」

教室や特別教室などを大切に使おう。
学用品などを大切に使おう。

後片付けをしっかりしよう。
自分の持ち物には名前を書こう。

学芸会の練習が間もなく始まります。慌ただしくなり、ついつい後片付けなどがおろそかになりがちです。学校でも「使用した物は、必ず元の場所へ返そう」などと声をかけ、日頃から物を大切にする意識を育てています。

ご家庭でも声かけなど、ご協力をお願いいたします。